



論文誌編集委員会

ヒューマンインタフェース学会

論文誌編集委員会委員長（担当理事） 葛岡 英明

論文投稿から採否の決定までを企画・運営するのが論文誌編集委員会の役割です。まず最も重要な仕事は、査読の実施と採否の決定です。投稿が受け付けられると、担当委員および査読者の決定から採否の決定までを、すべてオンラインで実施します。厳密かつ迅速に査読業務を推進するための作業が毎日のように続けられています。

特集号のテーマ設定も重要な仕事です。これは、会員が特定のテーマに関する最新の研究動向を効率よく収集できるサービスとしても重要ですが、会員に投稿の目標を提供することによって研究の推進を動機づけたり、学会に新たな研究トピックを紹介したりするという、研究コミュニティの活性化を促進する重要な役割を果たしています。このために、委員会では議論を重ねつつ、適切なテーマを設定する努力を続けています。

年末の大きな仕事は論文賞の選定です。正会員の推薦に基づいて候補論文が選定され、論文賞審査委員会による審査を経て受賞論文が決定されます。是非、皆様の積極的な推薦をお願いいたします。

これらの定常的な業務以外に、学会の活性化のための努力は常に続けられています。本年度から開始された新たな試みは、専門研究委員会推薦論文です。これは、研究会における研究発表の中で、論文紙投稿が可能な水準にあると専門研究委員会が判断した研究に対して、論文誌への投稿を推薦する制度です。会員の皆様がこの推薦を受ける際には、論文をよくするためのコメントを専門研究委員会から受けられるうえ、査読者の1人は専門研究委員会から推薦されます。これによって、研究者の論文執筆意欲の向上、投稿論文の質の向上、査読の適正化を目指します。

さて、現在委員会内で検討されているのは、論文のマルチメディア化です。当学会の論文誌は、前年度の論文誌編集委員会の努力によってようやくオンライン化されましたが、せっかく論文が電子化されたのですから、論文をさらに進歩させることができるはずですが、論文への動画コンテンツやプログラムの埋め込みなど、どのようにすればヒューマンインタフェース学会ならではの魅力的な論文誌を会員に提供することができるのかが、話し合われています。

論文誌編集委員会は、今後もヒューマンインタフェースの研究コミュニティに貢献するべく一層努力いたします。会員の皆様からも、ご意見やアイデアがございましたら、是非積極的に学会事務局にご連絡ください。